

関西医療大学 保健医療学部 理学療法学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目(一般教養を幅広く学ぶ科目)」と「専門教育科目(目指す医療資格を専門的に学ぶ科目)」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー(行動特性、能力)を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた「社会に役立つ道に生きぬく」医療人として活躍することを目指します。

理学療法学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	他者の意見を理解し、それに対する自らの意見を明確に伝えることができる
④ 協調する力	目的を果たすために社会のなかで多様な人々と協調することができる
⑤ 専門知識	医学、理学療法学に関する体系化された高度な知識を駆使できる
⑥ 専門技術	理学療法士として有すべき高度な技術を駆使し実践できる
⑦ 臨床推論力	深い専門知識に基づき、臨床現場の問題解決のために推論することができる
⑧ 科学的思考力	必要な情報・データを収集し、科学的かつ論理的に思考できる

大学・学部・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学部・学科のディプロマ・ポリシー		学科が求めるコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④協調する力	⑤専門知識	⑥専門技術	⑦臨床推論力	⑧科学的思考力
大学	1. 広い一般教養と、医療人としての高い倫理観に基づく実践力	●	●	●					
	2. 論理的な思考で問題解決できる能力		●			●		●	
	3. 医療人としての責任を自覚し、積極的に行動できる主体性	●	●						
	4. チーム医療の担い手として、多様な人々と協調・協働できる能力	●		●	●				
	5. 社会の要望に応える医療知識と技術					●	●		
学部	1. 専門職に必要な良識と倫理観	●	●						
	2. 科学的に問題解決できる創造力と思考力							●	●
	3. チーム医療のなかで、専門性と協調性をもって貢献できる能力			●	●	●			
	4. 専門職に求められる高度な知識と技術					●	●		
学科	1. 幅広い視野から物事をとらえ、多くの人とコミュニケーションできる能力	●		●	●				
	2. 「治せるセラピスト」として対応可能な高度な知識と技術を有し、奉仕の精神をもって社会に貢献できる能力					●	●	●	
	3. 様々な理学療法の領域で科学的に対応できる能力					●		●	●

理学療法学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	①⑧ 物質と自然のしくみ	①② 生命のしくみ	①③ 英語表現Ⅲ	①③ 英語表現Ⅲ				
	①⑧ 生命の化学	①③ 情報科学	①③ 中国語	①③ 中国語				
	①② 心と身体の健康	①② 生命倫理						
	③④ 生涯スポーツⅠ	③④ 生涯スポーツⅡ						
	①④ スポーツと健康	①② 環境と健康						
	①⑤ 生業の科学	⑤⑥ 東洋医学と西洋医学						
	④⑤ スポーツ社会学	④⑤ アスレティックトレーナー概論Ⅱ						
	④⑤ スポーツコーチング論	①③ 英語表現Ⅱ						
	④⑤ アスレティックトレーナー概論Ⅰ							
	⑤⑥ アスレティックトレーナーの役割							
	①③ 国語表現法							
	①③ 英語表現法Ⅰ							
	専門教育科目	⑤⑦ 人体の構造Ⅰ	⑤⑦ 人体の構造Ⅱ	⑤⑦ 基礎運動学Ⅱ	⑤⑦ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	⑤⑦ 免疫学	⑤⑥ 神経筋疾患理学療法学Ⅱ	⑥⑦ 理学療法臨床実習Ⅱ
⑤⑦ 人体の機能Ⅰ		⑤⑦ 人体の構造実習	⑤⑦ 基礎運動学実習	⑤⑦ 病因・病態学Ⅱ	⑤⑦ 小児・産婦人科学	⑤⑥ 小児疾患理学療法学Ⅱ	⑥⑦ 理学療法臨床実習Ⅲ	⑤⑦ 東洋医学概論
②⑤ 医学概論		⑤⑦ 人体の機能Ⅱ	⑤⑦ 人間発達学	⑤⑦ 内科各論	⑤⑦ 食品栄養学	⑤⑦ 総合理学療法学		⑤⑦ 東洋医学と理学療法特論
②⑤ 臨床心理学概論		⑤⑦ 人体の機能実習	⑤⑦ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	⑤⑦ 外科各論	⑤⑧ 臨床生理学	⑤⑦ 地域理学療法学総論		⑥⑦ 神経病理学療法特論
④⑤ リハビリテーション概論		⑤⑦ 基礎運動学Ⅰ	⑤⑦ 病因・病態学Ⅰ	⑤⑦ 心身医学	⑤⑧ 医学推計学	⑥⑦ 臨床評価実習		⑥⑦ 精神疾患理学療法特論
⑤⑥ 理学療法概論		④⑤ 保健医療福祉概論	⑤⑦ 内科診断学	⑤⑦ 加齢医学(老年医学)	⑤⑥ 評価学実習Ⅱ	⑥⑦ 理学療法臨床実習Ⅰ		⑥⑧ スポーツ理学療法特論
⑤⑥ 基礎ゼミⅠ		⑤⑥ 運動療法概論Ⅰ	⑤⑦ 外科診断学	⑤⑦ 皮膚科・感覚機能医学	⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学Ⅲ	⑥⑦ 理学療法臨床セミナー		⑦⑧ 理学療法研究法
		④⑤ 感染管理学	⑤⑦ 整形外科学	⑤⑦ 麻酔生理学	⑤⑥ 脳血管障害理学療法学Ⅲ			
		④⑤ 安全管理学	⑤⑦ 神経内科学	⑤⑧ 運動療法概論実習	⑤⑥ 神経筋疾患理学療法学Ⅰ			
		⑤⑦ 評価学総論Ⅰ	⑤⑥ 運動療法概論Ⅱ	⑤⑦ 動作分析学	⑤⑥ 小児疾患理学療法学Ⅰ			
		⑤⑥ 基礎ゼミⅡ	⑤⑦ 日常生活活動学	⑤⑥ 評価学実習Ⅰ	⑤⑥ 骨髄損傷理学療法学			
			⑤⑦ 評価学総論Ⅱ	⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学Ⅱ	⑤⑥ 老人理学療法学			
			⑤⑦ 検査測定学	⑤⑥ 脳血管障害理学療法学Ⅱ	⑤⑥ 内臓障害理学療法学			
			⑤⑥ 骨関節疾患理学療法学Ⅰ	⑤⑦ 義肢装具学	⑤⑦ 物理療法学実習			
			⑤⑥ 脳血管障害理学療法学Ⅰ	⑤⑦ 物理療法学				
			⑤⑥ 義肢装具学実習					